

能ク船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ノ利便ニ適應  
スルコトヲ得ヘシト云フ按スルニ本案ハ相當  
ノ措置ニシテ且別ニ支障ノ虞ナキモノト認メ  
ラルルニ付此ノ儘可決マラレ然ルヘシト思料  
ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正八年六月十日

樞密院書記官長三上英治

樞密院議長公爵山縣有朋殿

秘

大正八年六月十八日 會議議案  
決議

臺灣總督府官制中改正ノ件

参照添附

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十七條 民政部ニ左ノ六局及一部ヲ

置ク

内務局

財務局

遞信局

殖産局

土木局

警務局

法務部

逓信局ニ測候所及燈臺ヲ附屬セシム

殖産局ニ獸疫血清製造所ヲ置キ獸疫

血清ノ製造及配付ニ關スル事務ヲ掌

ラシム

第十八條中總督官房各局署及各部ヲ總督官房各局及部ニ改ム

第十九條中四人ヲ六人ニ十四人ヲ十六

人ニ蕃務警視專任二人ヲ蕃務警視專任

三人ニ視學官專任一人ヲ視學官專任二

人ニ稅務官專任二人ヲ財務局事務官專

任三人「三」四十八人「ヲ」四十九人「ニ」海軍官  
專任二人「ヲ」海軍官專任三人「三」四百三十  
人「ヲ」四百六十一人「ニ」改メ「警視總長」一人  
勅任「ヲ」削ル

第二十條及第二十七條中「各局署及各部  
ヲ」各局及部「ニ」改ム

第二十二條 總督府ニ警務總長ヲ置キ

警務局長ヲ以テ之ニ充ツ

警務總長ハ總督及民政長官ノ命ヲ承  
ケ警察及衛生事務ノ執行ニ關シ廳長  
及警務官以下ノ警察官ヲ指揮監督ス

第二十三條 法務部ニ部長ヲ置キ臺灣  
總督府高等官ヲ以テ之ニ充ツ

法務部長ハ總督及民政長官ノ命ヲ承

ケ部務ヲ掌理ス

第二十四條及第二十五條中「總督官房又

ハ各局署及各部ヲ總督官房各局又ハ部

ニ改ム

第二十六條中「警察本署ヲ警務局ニ警視

總長ヲ警務總長ニ改ム

第二十六條ノ二及第二十六條ノ三第三

十一條ノ二及第三十一條ノ三中「學務部

ヲ内務局ニ改ム

第二十六條ノ四中「稅務官ヲ財務局事務

官ニ「稅務ヲ財務局ノ事務ニ改ム

第二十七條ノ二中「通信局ヲ遞信局ニ改

ム

第二十九條ノ二及第三十一條中「警察本

署ヲ警務局ニ改ム

第三十一條ノ四中「及燈臺」ヲ「燈臺及獸疫

血清製造所」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

參照

臺灣總督府官制 明治三十年  
勅令第三百六十三號

第十七條 民政部ニ左ノ四六局一署及三一部ヲ置ク

内務局

財務局

通遞信局

殖産局

土木局

警察本署警務局

地方部

法務部

學務部

逋遞信局ニ測候所及燈臺ヲ附屬セシム

殖産局ニ獸疫血清製造所ヲ置キ獸疫血清ノ

製造及配付ニ關スル事務ヲ掌ラシム

第十八條 總督官房各局署及各部ノ事務ノ分

掌及其ノ分課ハ總督之ヲ定ム

第十九條 總督府ニ左ノ職員ヲ置ク

民政長官 一人 勅任

局長 四人

警視總長 一人 勅任

參事官 三人 奏任

事務官 十四人 奏任

警務官 三人 奏任

警視 二人 奏任

蕃務警視 二人 奏任

視學官 十一人 奏任

編修官 一人 奏任

稅務官 三人 奏任

技師 四十八人 奏任

內二人ヲ勅任  
者ヨリ得

海軍官 專任 三人

奏任

翻譯官 專任 二人

奏任

屬

警部

視學

編修書記

技手

通譯

專任四百三十人

判任

各測候所ヲ通シテ技師一人技手十九人ヲ置キ各燈臺ヲ通シテ看守四十人ヲ置キ測候所技師ハ奏任測候所技

手及燈臺看守ハ判任トス

第二十條 民政長官ハ總督ヲ佐ケ部務ヲ總理

シ各局署及各部ノ事務ヲ監督ス

第二十二條 總督府ニ警務總長ヲ置キ警務

局長ヲ以テ之ニ充ツ

警視務總長ハ警察本署ノ長ト為リ總督及民

政長官ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理シ警察及

衛生事務ノ執行ニ關シ廳長及警務官以下ノ

警察官ヲ指揮監督ス

第二十三條 各法務部ニ部長一人ヲ置キ臺灣



總督府高等官ヲ以テ之ニ充ツ

法務部長ハ總督及民政長官ノ命ヲ承ケ部務

ヲ掌理ス

第二十四條 参事官ハ上官ノ命ヲ承ケ審議立

案ヲ掌ル

参事官ハ上官ノ命ヲ承ケ總督官房又ハ各局

署及各部又ハ部ノ事務ヲ助ク

第二十五條 事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ總督官

房又ハ各局署及各部又ハ部ノ事務ヲ掌ル

第二十六條 警務官及警視ハ警察本署警務局

ニ属シ上官ノ命ヲ承ケ其ノ事務ヲ掌ル

四

番務警視ハ警察本署ニ属シ上官ノ命ヲ承ケ

番務ヲ掌ル

警務官、警視又ハ警務警視ハ事務、執行ニ関

シ警視務總長ノ命ヲ承ケ警察官ヲ指揮監督

ス

第二十六條ノ二 視學官ハ學務部内務局ニ属

シ上官ノ命ヲ承ケ學事ニ関スル視察及事務

ヲ掌ル

第二十六條ノ三 編修官ハ學務部内務局ニ属

シ上官ノ命ヲ承ケ教科用圖書ノ編修及檢定ニ関スル事務ヲ掌ル

第二十六條ノ四 稅務官財務局事務官ハ財務局ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ稅務財務局ノ事務ヲ掌ル

第二十七條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル  
技師ハ上官ノ命ヲ承ケ各局署及各部ノ事務ヲ助ク

第二十七條ノ二 海軍官ハ通遞信局ニ屬シ上

官ノ命ヲ承ケ海軍ニ関スル事務ヲ掌ル

五

第二十九條ノ二 警察本署警務局ニ監察官二人ヲ置キ警視ヲ以テ之ニ充ツ

(第二項畧)

第三十一條 警察部ハ警察本署警務局ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務ニ從事ス

第三十一條ノ二 視學ハ學務部内務局ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ニ関スル視察及事務ニ從事ス

第三十一條ノ三 編修書記ハ學務部内務局ニ

屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ教科用圖書ノ編修及

檢定ニ關スル事務ニ從事ス

第三十一條ノ四 測候所、及燈臺及獸疫血清製造

所ノ名稱及位置ハ總督之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 臺灣總督府官制中改正ノ件

#### 審査報告

謹テ今田御諮詢ノ臺灣總督府官制中改正ノ件  
ヲ審査スルニ本業ハ同府ノ部局ヲ改廢シ其ノ  
職負定負ヲ増減セムトスルモノニシテ其ノ條  
項及理由ノ要旨ハ左ニ列舉スル所ノ如シ

#### 第一 部局ノ改廢

- (一) 民政部ノ地方部及學務部ヲ廢止シ其ノ  
事務ニ水利及土木ニ關スル事務ノ一部  
ヲ併合シテ民政部ニ内務局ヲ新設シ民

政部ノ警察本署ヲ警務局ト改稱ス(第十  
七條第一項)是レ警察以外ノ地方行政事  
務ノ進捗ニ資シ且動モスレハ警察事務  
ト一般地方行政事務トヲ混淆スルノ弊  
ヲ矯メトスルノ趣旨ナリト云フ  
此ノ改正ノ結果民政部ノ組織ニ署ト稱  
スルモノナク又其ノ部ハ一ニ止マリ各局  
署ト云ヒ各部ト云フノ稱呼妥當ナラサ  
ルニ至リシカ故ニ此等ノ稱呼ヲ掲クル  
數多ノ條項ニ改正ヲ加フ(第十八條第二

十條、第二十三條、第二十四條、第二十五條、  
第二十七條)學務部ヲ廢シテ内務局ヲ置  
クニ伴ヒ改正ヲ要スル條項アリ(第二十  
六條ノ二、第二十六條ノ三、第三十一條ノ  
二、第三十一條ノ三)警察本署ヲ改メテ警  
務局ト爲スニ伴ヒ亦同シ(第二十六條第  
二十九條ノ二、第三十一條)以上總テ字句  
ノ改竄ニ外ナラス  
(二) 民政部ノ通信局ヲ逋信局ト改稱ス(第十  
七條第一項)是レ同局ノ所掌事務ニ海事

ヲ包含シ通信局ノ名稱稍適當ナラサル  
ノ感アルニ因ルト云フ又此ノ改正ニ伴  
ヒ字句ノ改訂ヲ要スル條項アリ(第十七  
條第二項、第二十七條ノ二)  
新ニ殖産局ニ獸疫血清製造所ヲ置キ獸  
疫血清ノ製造及配付ニ關スル事務ヲ掌  
ラシメ(第十七條第三項)其ノ名稱及位置  
ハ臺灣總督ヲシテ之ヲ定メシム(第三十  
一條ノ四)是レ從來地方廳ヲシテ該事務  
ヲ掌ラシメタルモ自今本府自ラ之ニ當

第二

(一) 職負定負ノ増減  
警視總長ノ官ヲ廢シ(第十九條)警務總長  
ノ職ヲ置キ警務局長ヲ以テ之ニ補シ警  
務局長ハ上官ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌  
理シ局中各課ノ事務ヲ指揮監督スルノ  
外警務總長トシテ上官ノ命ヲ承ケ警察  
及衛生事務ノ執行ニ關シ廳長及警察官  
ヲ指揮監督スルモノトス(第二十二條)警  
務局長ニ附スルニ警務總長ノ職名ヲ以

ラスルハ従来ノ例ヲ襲ヒ内外ニ對シテ  
其ノ事務ノ執行ニ便ナラシムル爲ナリ  
ト云フ此ノ改正ニ付テモ亦字句ノ改訂  
ヲ要スル條項アリ(第二十六條)

(二)

稅務官ヲ改メテ財務局事務官トシ(第十  
九條)財務局ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ同局  
ノ事務ヲ掌ルモノトシ(第二十六條ノ四)  
稅務ノ外會計検査等ノ事務ニ當ラシム  
其ノ他内務局及警務局新設ノ結果局長  
二人、戶籍事務及教育事務ノ爲事務官二人、

(三)

警察飛行班設置ノ爲警務警視一人、教育  
事務ノ爲視學官一人、會計検査事務ノ爲  
財務局事務官一人、獸疫血清製造事務ノ  
爲技師一人、海事行政事務ノ爲海事官一  
人ヲ増加シ又各般事務ノ爲屬十九人、警  
部八人及技手七人ヲ増加シ保安林事務  
整理ノ結果技手一人及視學官増員ノ結  
果視學二人ヲ減少シ差引屬以下判任官  
通シテ三十一人ヲ増加ス(第十九條)

按スルニ以上諸點ノ改正ハ畢竟諸般事務ノ改

善ヲ圖リ其ノ増進ニ應スルノ目的ニ出テ別ニ  
支障ノ虞ナキモノト認メラルルニ付本案ハ此  
ノ儘可決セラレ然ルヘシト思料ス  
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正八年六月十四日

樞密院書記官長ニ上共治

### 樞密院議長公爵山縣有朋殿

第 號

臺灣總督府鐵道部官制中左ノ

通改正ス

第二條中「事務官專任七人奏任」

事務官事務官補專任五人奏任二十二人ヲ十

四人ニシテ二百六人ニシテ二百六十人ニシテ

十四人ニシテ九十四人ニ改ム

第五條「事務官」ノ下ニ「及事務

官補」ヲ加フ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

拓殖局

並美島野紙十行全

勅令第 號

高等官官等俸給令中左ノ通改正

ス

第十四條中「臺灣總督府事務官」ノ

次ニ「臺灣總督府鐵道部事務官」ヲ

加フ

第十九條中「臺灣總督府蕃務警視

」次ニ「臺灣總督府鐵道部事務官

補」ヲ加フ

附 則

拓殖局



本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

拓殖局

臺灣總督府監獄官制中左ノ通改

勅令第 號

臺灣總督府監獄官制中左ノ通改

正ス

第二條中「典獄三人奏任」次ニ「典

獄補專任二人奏任」ヲ加ヘ「監吏」專

任四十人「看守長」專任三十六人ニ

改ム

第三條ノニ「典獄補ハ典獄ノ指

揮ヲ承ケ監獄ノ事務ヲ掌リ又

ハ支監ノ長トナル

拓殖局

第四條中「監吏」ヲ「看守長」ニ改ム  
 第九條典獄ハ判任官及判任官  
 待遇ヲ受クル監獄醫、教誨師、  
 教師、進退ハ之ヲ臺灣總督ニ  
 具狀シ看守及女監取締、進退  
 ハ之ヲ專行ス  
 第十一條中「上席監吏」ヲ「典獄補」又  
 ハ「上席看守長」ニ改ム  
 第十三條中「上席監吏」ヲ「上席看守  
 長」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如

改ム  
 支監長ハ典獄補又ハ看守長ヲ  
 以テ之ニ充ツ典獄ノ指揮監督  
 ヲ承ケ支監ノ事務ヲ掌  
 理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス  
 附則  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 本令施行ノ際現ニ臺灣總督府監  
 吏ノ官ニ在ル者別ニ辭令書ヲ交  
 付セラレサルトキハ臺灣總督府

看守長ニ同俸給ヲ以テ任セラレ  
タルモノトス

拓殖局

明治二十六年十月

勅令第 號

高等官官等俸給令中左ノ通改正

ス

第二十一條中臺灣總督府法院書

記長ノ次ニ臺灣總督府典獄補ヲ

加フ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

拓殖局

勅令第 類  
 税関官制中左ノ通改正ス  
 第四條中「副事務官」ノ次ニ「関税  
 官專任奏任五人」ヲ「鑑査官」ノ次  
 ニ「技師專任奏任二人」ヲ加ヘ「七人」  
 ヲ「九人」ニ「三百十五人」ヲ「三百十二人」  
 ニ「百五十人」ヲ「百五十一人」ニ改ム  
 第十八人ヲ「六百五十二人」ニ改ム  
 第八條ヲ第七條トス  
 第八條 技師ハ税関長ノ指揮ヲ  
 承ケ船舶繫留ニ関スル事務ヲ  
 掌理ス  
 第十五條中「事務官補」ヲ「関税

皇清宣統元年十月全





本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

局長	

ヲ削ル

第十四條中「臨時台湾總督府工  
事部事務官削ル

第十六條中「台湾總督府視學官」  
ヲ「台湾總督府事務官」ニ改ム

第十七條中「朝鮮總督府視學官」  
定官」ヲ次ニ「台湾總督府視學官」ヲ加フ

別表第一表「台湾總督府」部中  
「逓信局長」ヲ「逓信局長」ニ「敬査視  
總長」ヲ「敬査事務局長」ニ改メ「台湾總督  
府」項次ニ左ノ如ク加フ